



1 はじめに

NECのExpress5800/ECAcceleratorをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

SSL(Secure Socket Layer)を利用してセキュア・トランザクションを処理しようとする、高性能サーバを使用した場合でもCPUの90%近くが占有され、応答時間が非常に長くなることがあります。本製品を使用すると、SSLを利用した場合のWebサイトのパフォーマンスを向上させることができます。しかも、このことをユーザーが意識する必要はありません。本装置は、サーバ群の手前でSSLトランザクションに割り込み、必要な処理を加えてサーバに渡します。また、暗号化/復号化に必要とする管理処理を最小限の管理者の作業だけで行うことができます。

本装置の機能

本装置は、以下の特長を備えています。

- 電子証明書マッピングの拡張:最大100の電子証明書マッピングが可能
- リモート管理:
 - － Telnet－ 新しい「コンソール監視機能」による、コマンドライン・インターフェースへの標準的なリモート・アクセス
 - － SSH－ 新しい「コンソール監視機能」による、高機能でセキュアなCLIアクセス
 - － SNMP－ プライベート・エンタープライズMIBおよびMIBIIを含む
- アラーム機能: 管理コンソールまたはリモート管理セッション(TelnetおよびSSH)で、以下の例外状況を示す簡単なレポートを自動的に表示することができます。
 - － 暗号状態の変更
 - － SSLコネクションの拒否
 - － しきい値警告
 - － 過負荷警告
 - － ネットワークのリンク状況
- 監視機能: 管理コンソールまたはリモート管理セッション(TelnetおよびSSH)に対して、各種の状況を示したレポートを定期的に送信できます。監視レポートには、以下の情報が含まれます。
 - － インライン/バイパス・モード
 - － フェイルセーフ/フェイルスルー・モード
 - － CPUの状況
 - － SSLコネクションの状況
 - － ネットワーク・インターフェースの状況
 - － サーバ・インターフェースの状況
 - － 暗号化/復号化の処理速度

対象読者

本書は、管理者を対象としています。本書の内容を理解するには、次のような知識が必要です。

- ネットワークの概念と用語に関する知識
- ネットワーク・トポロジに関する基本的な知識
- ネットワークとIPルーティングに関する基本的な知識
- SSL、鍵、電子証明書に関する一般的な知識
- Webサーバに関する知識

ご使用になる前に

本装置のセットアップに必要な作業は、主に次の3つです。

- 本装置とサーバの物理的な設置(複数の本装置と複数のサーバが使用可)
- コマンドライン・インターフェースを用いた本装置の設定
- SSL処理で使用する電子証明書の指定(既存の電子証明書の取り込み、または新しい電子証明書の取得)

本書について

本書は、本装置を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。システムのセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

内容の紹介

本書の構成は、次のとおりです。なお、巻末には、用語集と索引があります。必要に応じて利用してください。

- 「第1章 はじめに」では、本装置の概要および新しい機能の概要を紹介します。
- 「第2章 インストールと初期設定」では、インストールと初期設定の手順を示します。
- 「第3章 操作の基本」では、本装置を使用するために必要な基本的事項について説明します。
- 「第4章 設定例」では、本装置の設定例と、その設定手順を示します。
- 「第5章 コマンド・リファレンス」では、コマンドライン・インターフェース(CLI)について説明し、コマンドの一覧とその機能を説明します。
- 「第6章 リモート管理」では、Telnet、SSH(Secure Shell)、およびSNMPを使用して、リモートで本装置を管理する方法を詳しく説明します。
- 「第7章 アラーム機能およびモニタ機能」では、各種の情報を受け取るために必要な、装置の設定方法を説明します。情報は、定期的に入手することもできますし、異常なイベントまたは異常な状況が発生したときに入手することもできます。
- 「第8章 ソフトウェアのアップデート」では、本装置のシステム・ソフトウェアのアップデート手順を示します。
- 「第9章 トラブルシューティングと装置交換」では、問題が起きたときの現象、その考えられる原因、および処置を表形式で説明します。また、故障による装置の交換の際の手順についても説明しています。
- 「付録A フロントパネル」では、本体のフロントパネル(LED、ボタン、接続)について、図を用いて説明します。
- 「付録B 障害/バイパス・モード」では、障害が発生した場合の措置と、バイパス機能の詳細を示します。
- 「付録C 対応している暗号方式」では、本装置で対応している暗号方式を一覧で示します。
- 「付録D Version 2.3.1ソフトウェアに関する制限事項」では、本装置のソフトウェア Version 2.3.1を使用する際の制限事項を示します。
- 「付録E 仕様」では、ハードウェアの仕様について記載しています。

- 「付録F 認定/規格」では、本装置が対応している認定/規格等に関する情報について述べます。
- 「付録G ユーザーサポート」では、Express5800シリーズを修理に出す際の確認事項やサポートしている各種保守サービスや情報サービスについて紹介しています。
- 「付録H 保守サービス網一覧」では、Express5800シリーズや関連製品のアフターサービスや保守を行うNECフィールディング株式会社のサービス拠点所在地を示します。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

また、コマンドライン・インタプリタで用いるコマンドの説明において、以下の規則に従って表記を行います。

記号/字体	説明
< >	ユーザーが入力するパラメータを意味します。
[]	ユーザーが選択するパラメータを意味します。パラメータはそれぞれ「 」で区切って表示されます。
{ }	省略可能なコマンドや省略可能なパラメータを意味します。
太字(ボールド体)	コマンドライン・インターフェースに対しユーザーが入力する実際の文字列を示します。コマンド実行の結果表示される文字列は通常の字体で表記されます。
;	[]内の入力パラメータの区切りです。この記号で区切られている複数のパラメータのうち1つを選択します。実際の入力ではこの記号を入力しないでください。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードすることができます。

<http://express5800.com/>

～Memo～